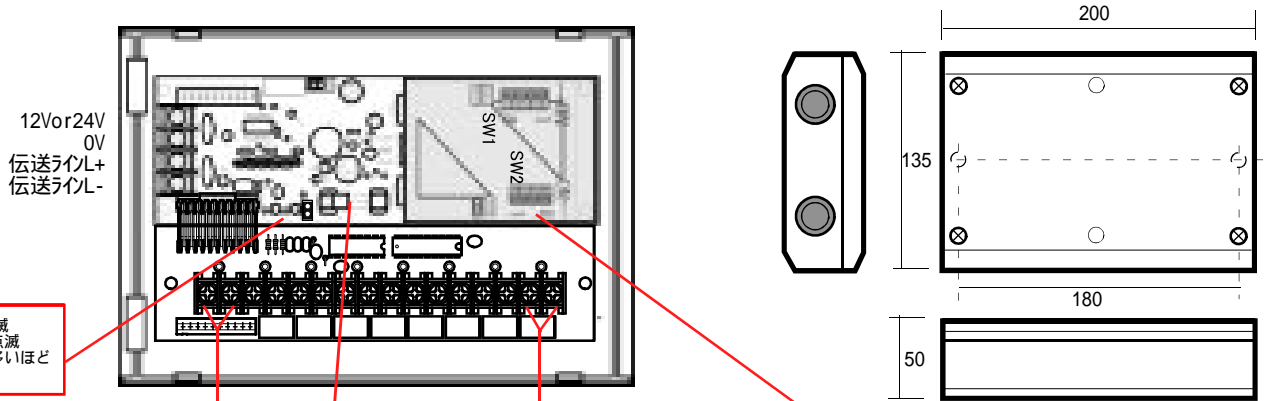


8点出力付き メインユニット PU8RY (リレー出力) tkSK-004

Ver-3.8

特徴

- ・伝送用電源PU01に増設用8点出力基板を増設したものです。
- ・サブユニット間の通信を可能にし、一部の信号をこのユニットで出力できます。
- ・PU8RYはサブユニットからの入力信号を受けてリレー出力することができます。



CK... 正常動作時点減
DT... データ入力時点減
データ入力が多いほど
明るく点滅

8番目のアドレス
SW2のONの2進数合計
(例) NO.4 ONの時は8

1番目のアドレス
SW2のONの2進数合計の数 - 7
(例) NO.4 ONの時は1

伝送ラインショート時に
ヒューズが切れます。
切れた時は配線方法等を
確認した上で交換してください。
(ヒューズ 0.5A)

ジャンパによる モードの切替方法

メインモード (伝送親局) サブモード (伝送子局)

ジャンパにより伝送主基板のモードの切替えができます

メインモード 伝送加ック出力あり。
システム1ラインに必ず1台必要です。2台目以降は全て
サブモードとして使用します。

サブモード 伝送加ックなし。
多点I/Oの伝送I/Fとして使用する場合に設定します。
メインモードに設定した伝送主基板を同一伝送ライン上に
2台以上接続しますと伝送加ックが当たって故障の原因となります。

増設基板用出力アドレス設定

伝送メイン基板の放熱フィン
の下にあるデッド SWで設定
します。それぞれのSWに
下記の2進数が割付けて
あります。

出力設定SW2
設定方法
増設した出力基板の最後のアド
レスに合わせる
(SW1 ~ 8の2進数合計をONする)

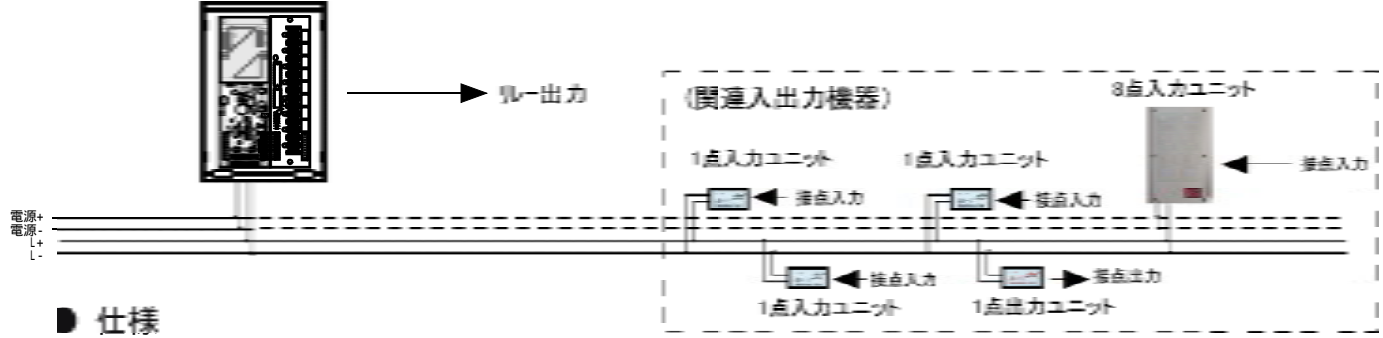
アドレスは8連続したアドレス
になります。

SWNo	2進数
1	1
2	2
3	4
4	8
5	16
6	32
7	64
8	128

アドレス設定表を参照してください。

アドレス
時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/
OFF状態が入ります。通常このアドレスは256ありこのアドレス = 接点信号
のI/O番号となります。

接続方法 PU8RY



仕様

電源電圧	DC12V専用もしくはDC24V専用(付属用-電圧)
消費電流	500mA (突入電流1A)
クロック周波数	約512Hz
クロック数	256 (128・64)
内部出力点数	8点 (外部に256点まで増設可)
接点定格	DC24V 1A
質量	約480g

24V用は末尾に-2が付きます。